



恕の心



令和4年10月3日 校長 廣瀬 真樹

「聴く」②



No6に引き続き「聴く」に関してです。今回は「聴き方」についてです。

「聴く」とは黙ることではない。話すことである。

黙って聴いているだけは「聴く」うちに実は入らない。聴くのに
は話し手という相手が目の前に存在している。聴き手に黙ってい
られると、話し手はどんな気持ちになるだろう。聴くとは実は返
すことなのである。話し手としては反応が返ってくるから手応え
を感じ次の言葉が浮かんでくる。聴き手の役割は、話し手が話し
やすいように聴いて話を促すことである。どんな人でも聴き手
になったら「笑ったり」「うなずいたり」「ちょっと意見を言ったり」
などして、話し手にかかわっていくべきである。

「話の聴き方」について大事なことは3つある。

- ① **明るい表情をつくること。**
- ② **要所要所でうなずくこと。**
- ③ **大切だと思った箇所はメモをとること。**

「聴く」という行為は、「あなたの話を聞いていますよ」との発信
なのだ。

『人生は「聴く力」で9割変わる』福田健著／経済界新書

世の中には、話しやすい人と話しにくい人がいます。話しにくい
人は、腕や足を組んだり、あいずちやうなずきがなく、無表情で反
応がない人です。反対に、「うんうん」とうなずいたり、話をしてい
る途中にメモなどを取ってくれたら、うれしい気持ちになります。

うなずき、あいずち、笑顔、驚きの表情……………
「あなたの話をしっかり聴いていますよ！」という
サインを出し続けていきたいですね。



9/28(水)情報モラル講座がありました



「LINE」「ユーチューブ」「オンラインゲーム」など、最近では誰もがやっているSNS。しかし、『便利さ』『楽しさ』の裏側には、これまで知らなかった危険がたくさんあることをソーシャルメディア研究会の学生3人に教えていただきました。短い時間でしたが、3つの動画を見てどうするのが良かったか考えました。その中でSNSを使う上で大切なこととして「相手の気持ちを想像すること」「流されずに考えること」そして「思いやりを忘れないこと」があげられていました。考えてみたらこれはSNSだけでなく、普段の学校生活でも大切にしてほしいことです。今回の学習をぜひ今後に生かしてほしいです。

校長コラム

「口にした言葉は自分の耳が最初に聞く」

いい言葉も悪い言葉も、発した言葉は自分が最初に聞くことになり、やがてその通りになっていきます。

言葉には「言霊」が宿っているといえます。聴く人を時には励まし、時には大きく傷つけてしまうのが言葉。文句や不満や悪口も、そして感謝や励ましの言葉もどちらも一番最初に聞くのは自分の耳。

いい言葉は自分自身にこそ聞かせていきたいものです。

いつも
ありがとう

